

## 100頭でも200頭でも機械は1台必要

酪農場での必要とする作業機械台数を表しています。農場を規模拡大するに当たり、100頭であろうと300頭であろうと、作業機械は最低1台必要であるという事を示しています。100頭であろうと300頭であろうと1台必要なのですから、100頭でも作業機械代金1000万円、300頭であろうと1000万円の作業機械代金の投資が必要となります。

飼養頭数が3倍であっても、1倍であっても同じ投資を必要とします。同じ投資が必要であれば、売り上げの大きな計画の方が借入金の返済は楽になります。総投資額と売上額のバランスが大事である事を示します。

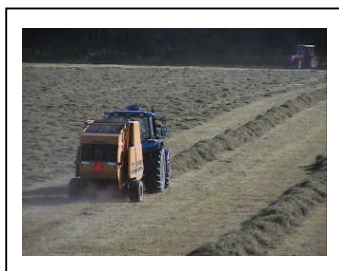
100頭での規模拡大をすると仮定する。TMR用のミキサーは1台必要である。ミキサーのみで500万円の投資とすると、300頭ではどうなるか。100頭で2回TMRを作れば必要量をまかなえるとして、300頭であると6回作る必要がある。6回は作業上作れないが、4回程度にならないかと考えると、ミキサーの大きさを1.5倍の容量のミキサーを購入しなければ行けない。容量で1.5倍のミキサーは値段も1.5倍であるか？価格を調べて欲しいものである。何度も作れば解決する問題もあるが、故障時の事も念頭に置く必要がある。大きな1台よりも、小さな2台が必要となる事もある。

酪農には色々な機械が必要である。設備投資型の産業である事を念頭に置く事が必要である。本当に必要な機械は何か。どのようにして使おうとするのか？誰がどの時間に、何処で行うのか？考える事は多い。

車載のミキサー



ロールベラー



コーンの刈り取り作業

